

感染症の流行・発生状況について  
2024年第38週(9月16日～9月22日) 診断分

● 警報・注意報(県全体)

警報	なし
注意報	インフルエンザ

● 疾患別警報レベル・注意報レベル(各保健所)

警報レベル	注意報レベル
・咽頭結膜熱 (八重山保健所管内) ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (八重山保健所管内)	・インフルエンザ (北部、中部、那覇市、南部、八重山保健所管内)

● 2024年第38週全数報告について(南部保健所管内)※先週までの報告からの追加も含む

《五類感染症》 ・梅毒 1件 ・百日咳 1件
------------------------------

● 南部保健所からのお知らせ

「手洗い」、「咳エチケット」、「換気」等の感染予防策の実施にご協力よろしくお願いします。

①インフルエンザ  
感染症発生動向調査による本県の定点からの報告数が、2024年第38週で定点当たり17.18人(報告数962人)となり、注意報発令基準値である10人を上回り、引き続きインフルエンザ注意報発令中です。  
南部保健所管内においては、2024年第38週で定点当たり24.00人となり、第35週以降継続して注意報の基準値を上回っております。

②百日咳  
南部保健所管内における百日咳の報告数は2024年第38週時点で延べ9件であり、2023年度の年間報告数(3件)を上回っております。  
百日咳は百日咳菌による急性気道感染症です。コンコンと連続的な激しい咳みや、息を吸うときにヒューという音を伴う特徴的な咳が長時間続きます。成人や定期予防接種済の方が感染した場合は、症状は典型的でなく軽症のことがあります。乳児が重症化すると無呼吸を起こしやすく、死につながるおそれがあります。

発熱、長引く咳など体調不良時には、かかりつけ医に相談、受診もしくは、受診医療機関に迷う場合は、「おきなわ#7119電話相談」(#7119 若しくは 098-866-7119)へご相談ください。

※定点医療機関とは、インフルエンザなどの感染症について、患者の発生情報を提供する医療機関のことです。定点1医療機関あたりの平均報告数で、感染症の流行状況を把握しています。

沖縄県全体報告数

南部保健所管内報告数

疾病名	定点区分	35週	36週	37週	38週	38週
		8/26	9/2	9/9	9/16	(定点あたり報告数)
インフルエンザ	インフルエンザ	515	626	925	962	(17.18)
咽頭結膜熱	小児科	12	19	7	12	(0.38)
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	小児科	68	59	81	75	(2.34)
感染性胃腸炎	小児科	70	70	62	43	(1.34)
水痘	小児科	3	0	9	4	(0.13)
手足口病	小児科	35	41	62	72	(2.25)
伝染性紅斑	小児科	0	0	3	0	(0.00)
突発性発疹	小児科	9	7	9	5	(0.16)
ヘルパンギーナ	小児科	5	4	5	5	(0.16)
流行性耳下腺炎	小児科	1	3	3	2	(0.06)
急性出血性結膜炎	眼科	0	0	0	0	(0.00)
流行性角結膜炎	眼科	3	5	6	5	(0.56)
細菌性髄膜炎	基幹	1	1	1	0	(0.00)
無菌性髄膜炎	基幹	0	0	0	0	(0.00)
マイコプラズマ肺炎	基幹	7	13	5	5	(0.71)
クラミジア肺炎	基幹	0	0	0	0	(0.00)
RSウイルス感染症	小児科	5	7	2	8	(0.25)
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	基幹	0	0	0	0	(0.00)
COVID-19	COVID-19	241	143	115	114	(2.04)
ヒトメタニューモウイルス(hMPV)感染症						

35週	36週	37週	38週	38週
153	175	283	336	(24.00)
1	3	3	1	(0.13)
20	17	21	26	(3.25)
22	22	13	13	(1.63)
1	0	6	0	(0.00)
12	13	22	13	(1.63)
0	0	0	0	(0.00)
4	1	3	2	(0.25)
0	1	1	3	(0.38)
0	0	0	0	(0.00)
0	0	0	0	(0.00)
0	2	3	3	(1.00)
0	1	0	0	(0.00)
0	0	0	0	(0.00)
0	0	0	0	(0.00)
0	0	0	0	(0.00)
1	2	0	1	(0.13)
0	0	0	0	(0.00)
72	49	49	34	(2.43)
0	0	0	0	(0.00)

警報

※クラミジア肺炎については、オウム病を除く。